

NEWSLETTER

No.3

2000年5月10日

会長 小泉保 事務局 〒573-1001 大阪府枚方市北片鉾町16-1 関西外国語大学 澤田治美研究
室内

TEL072-856-1721 (代表) FAX 072-855-5534 郵便振替口座 00900-3-130378 口座名:日本語用論
学会

★会員の皆様、お変わりありませんか。
日本語用論学会Newsletter第3号をお届け
します。さる3月20日に、第9回運営委員
会が開かれました。この号は、そこで討
議された内容を基に編集されています。

★第2回大会成功のうちに終了

日本語用論学会第2回大会は1999年12
月4日(土)立命館大学「国際平和ミュー
ジウム」で開催されました。参加者は約200
人にのぼり、語用論に対する関心の高さを
うかがわせました。会場校となった立命館
大学の児玉徳美先生をはじめとする諸先生
方、ならびに院生、学生の皆様に心から感
謝いたします。

12時からホールで第2回総会が開かれま
した。小泉会長の挨拶に続いて、事務局報
告、編集委員会報告、会計報告がなされま
した。

12時30分から15時35分までA室とB
室に分かれ、各会場5件、計10件の研究発
表が行われました。どの会場も活発な質疑
応答がなされました。

15時45分から18時過ぎまで、「語用論
のダイナミズム—21世紀への知の探求」(司
会:山梨正明、講師:土屋俊、井上逸兵、
飯田仁)と題して、シンポジウムが開催さ

れました。熱気に満ちあふれた充実したシ
ンポジウムとなりました。

大会終了後、懇親会が開かれました。終
始笑い声の絶えないなごやかな会でした。
今回は、神戸市外国語大学での第3回大会
(2000年12月2日(土))で再会するこ
とを約して散会しました。

★1999年度の会計報告

本学会の会計年度は毎年3月末日となっ
ています。昨年度の会計報告は別紙の通り
です。

★研究発表募集

今年度の大会は、12月2日(土)に、神
戸市外国語大学で開催される予定です。皆
さん、奮ってご応募下さい。

★「研究発表」・「ワークショップ発表」 募集

発表要旨:①「研究発表」の場合、A4の用
紙を用いて、余白を十分とり1行
目にタイトルを明記し、25字×30行で
3枚以内にまとめて4部(コピーで可)
を提出する。ただし、参考文献表は枚数
に含めない。名前は別紙に書くこと。
タイトル、名前、所属・職名、住所、電

話番号、ファックス番号、電子メールのアドレスを明記したものを添付する。名前には必ずふりがなを付ける。②「ワークショップ発表」の場合、A4 の用紙で、25 字×30 行で 1 枚以内にまとめて 3 部提出する。それ以外の点は①の「研究発表」と同じ。

発表時間：①「研究発表」の場合は 1 人 25 分以内（質疑応答 10 分）。②「ワークショップ発表」の場合は 1 人 15 分以内（質疑応答 5 分）。

応募締切：①「研究発表」の場合は 2000 年 8 月 20 日必着とする（選考結果は 1 ヶ月以内に通知します）。②「ワークショップ発表」の場合は 2000 年 9 月 30 日必着とする（選考結果は 10 月中に通知します）。

宛先（問い合わせ）

〒573-1001 大阪府枚方市北片鉾町 16-1
関西外国語大学 澤田治美研究室内 日本語用論学会事務局 TEL(072)856-1721
(代) FAX(072)855-5534。「発表応募」と朱筆のこと。

★『語用論研究』投稿募集

現在、本学会の学会誌『語用論研究』第 2 号への投稿を募集しています。投稿規定は『語用論研究』創刊号(p. 122)に記載されているとおりです。多数のご応募をお待ちしています(締め切りは 2000 年 8 月 31 日。32 行×38 文字(標準)で A4 横書き 15 枚以内。上・下 30mm、左・右 25mm の余白をとる。原稿の 1 ページ目はタイトルのあとに 1 行アケで氏名、そのあと 2 行アケで本文を続ける。例文の前後、各節の前は 1 行あける。原稿はそのまま写真印刷するので、鮮明に仕上がるように、文字の大きさ、

濃さに注意する。ページ番号は裏面に鉛筆で記す。注は参考文献の前にまとめて付ける。参考文献の書式は、投稿規定(p. 122)を参照のこと。原稿は 4 部提出(1 部は鮮明なもの)。別紙に、氏名(ふりがな)、住所、所属、職名、連絡先電話番号、Fax 番号、e-mail アドレスを記入する。送付先：〒573-1001 大阪府枚方市北片鉾町 16-1 関西外国語大学 澤田治美研究室内 日本語用論学会事務局 TEL(072)856-1721(代) FAX(072)855-5534。「投稿論文在中」と朱筆のこと。採用決定は 10 月末日。刊行は 12 月)。

★役員の一部交替

このたび、役員の一部交替がありました。

*印が新任の方です。

編集委員長：*高原脩

編集委員：内田聖二、*神尾昭雄、金水敏、*久保進、児玉徳美、*西光義弘、*林礼子、東森勲、山梨正明

事務局補佐：高司正夫、*田中廣明

★学会費の払い込み

このニューズレターとともに 2000 年度会費の振替用紙が同封されています。大会当日は納入受付が大変混雑しますので、なるべくこの用紙で早めに振り込み下さいますようお願いいたします。

★第 3 回大会のシンポジウム

第 3 回大会のシンポジウムのテーマは「実践の語用論」(仮題)(司会：高原脩氏)とする方向で、目下、3 人の講師に交渉中です。

(事務局 澤田治美・田中廣明記)

メールでの連絡は、

tanaka@kbc.kansai-gaidai-u.ac.jp (田中宛)
へ。ただし、研究発表へのメールでの応募
はご遠慮下さい。